

CVポート抜去術についての説明・同意書

<末梢血管からの点滴について>

末梢血管からの点滴は一般的に行われていますが、血管が薬の刺激を受けやすく、使用する薬によっては痛みを伴う場合があります。そのため、CVポートを埋設して治療を行うことがあります。

<CVポートからの点滴について>

CVポートは、心臓に近い、中心静脈にチューブ（カテーテル）を挿入し、そこから薬を注入します。心臓付近の血管は腕の血管に比べ血流量も多いので、薬の刺激を受けにくい方法となり、頻回な血管の穿刺を行う必要がありません。抜去処置は順調に進みますと5分程度で終了します。

<CVポート抜去術についての合併症>

出血、気胸、血胸、感染、血栓、皮膚感覚・運動障害、心筋梗塞、脳梗塞等
CVポート抜去術については以下のような合併症も起こる可能性もあります。

<抜去時の合併症>：カテーテルを抜去する際に、出血する場合があります。その場合、出血については圧迫止血や縫合などによる止血処置を行います。気胸などが発生した場合には、ドレナージ等の適切な処置を行います。

<抜去後の合併症>：感染や血腫などが生じることがあります。その場合にも抗生剤治療や血腫除去など適切な処置、対応を行うことが可能です。

<CVポートからの治療>

CVポートからは様々な治療や検査が行えます。抗がん剤の投与、栄養剤の投与、採血や造影CT検査等の治療や検査が可能です。今後、再度埋設が必要になった場合にも対応致します。

説明内容：CVポート抜去術に関する必要性・合併症など

年 月 日



AMS Atlas Medical Service
きしクリニック札幌

医師 印

私は、上記内容の説明を受け、CVポート抜去術を行うことに同意しました。

年 月 日

患者 氏名

患者代理人 氏名